

疥癬（かいせん）

～「かゆみ」や「皮疹（ひしん）」に注意しましょう～

どのような病気ですか？

- ★ 疥癬（かいせん）の原因となるのは、ヒゼンダニというダニです。このダニに感染すると疥癬となります。疥癬は、「通常疥癬」と「角化型疥癬」の2つの種類があります。

<通常疥癬と角化型疥癬の特徴>

項目	通常疥癬	角化型疥癬
ヒゼンダニの寄生数	1,000以下（最大） *患者の半数はメス成虫が5匹以下	100万～200万 *1,000万以上に及ぶこともある
患者の免疫力	正常	低下
感染させる力	弱い	非常に強い
主な症状	疥癬トンネル、小丘疹、小結節	角質増殖、過角化、全身の紅斑、水疱
症状の出やすいところ	手、指の間、肘、足、男性陰部	全身、手・足
かゆみ	強い	強いが、全く訴えないこともある

<ヒゼンダニの特徴>

- ① 熱・乾燥に弱い。
⇒ 50℃以上10分程度で死滅する。
- ② 人の皮ふを離れると長生きできない。
- ③ 人肌の温度以下では動作が鈍くなる。
⇒ 体表で1分間に2.5cm程度動くといわれるが、16℃では全く動かない。

どのようにうつりますか？

- ★ 直接肌と肌が長時間触れ合うことでうつります。（雑魚寝（ざこね）をする場合など）人肌のぬくもりが残っている布団やベッドなどを一緒に使うと、直接触れ合わなくてもうつります。
- ★ 通常疥癬の場合は、感染力が弱く、治療開始後はほとんどふだん通りの生活で問題ありません。ただし、タオルや寝具などを一緒に使うことは避けましょう。
- ★ 角化型疥癬の場合は、寄生するダニの数がケタ違いに多く、感染する力が強力です。周りの人へ感染させないような予防対策を行います。

どのように治療しますか？

- ★ 皮膚科医による治療を受けます。医師の指示に従い、飲み薬や塗り薬を使います。通常疥癬も角化型疥癬も治療すれば治る病気です。

心配な時はどうすればよいですか？

- ★ 「夜間に強くなるかゆみ」「皮ふ症状がある（湿疹やしこり）」「身近に同じような症状の人がいる」のうち、1つでもあてはまる場合は、医療機関を受診しましょう。
- ★ 医師には次のことを伝えましょう。
- ① いつ・どこに・どのような皮ふ症状が生じ、広がったか。
 - ② かゆみはどうか（夜間強くなるか、不眠はあるか）。
 - ③ 家族や身近な人に同じ症状の人がいるか。
 - ④ 最後に一言「疥癬の心配はないですか？」と聞いてみましょう。